

市民の声

12月8日と9日の本会議は、新鮮なまなざしで、傍聴席がいっぱいになりました。

8日には金沢小の菊地先生と6年生23名が、9日には田根森小の谷口先生と6年生25名が、一般質問を社会科見学しました。たくさん寄せられた感想の中から、いくつかを紹介します。

- ☆あんなに、緊張する所なんだ。
- ☆この町をよくするために、たくさんの方の意見を出してくれました。
- ☆議員さんが私たちのためにがんばってこれたのだからです。
- ☆質問されたら必ず返す・うなずきながら聞く・相手を考えた言葉を使うことなど、学校生活に活かせるようなことばかりでした。
- ☆議員さん・市長さん・部長さん多くの人が市議会にかかわってがんばっていました。
- ☆大雄の給食センターでつくる給食はすごくおいしいから、なくならないでほしいです。
- ☆議員になりたいなー。
- ☆私たちの知らないところで、こんなにも横手市のことを考えてくれる人たちがいたことが、とてもうれしかったです。



議会運営委員会

開かれた議会を目指す

議会運営を視察

▽議会運営委員会 議会の日程・審議事項・一般質問の調整など、議会全般の円滑な運営のため、協議や意見調整を行っています。

その具体的な所管内容は法律で定められており、委員長以下12名の委員と議長・副議長の計14名で調査や審議に当たっています。

▽行政視察 委員11名は、10月21日から23日まで奈良県橿原市と滋賀県近江八幡市を視察し、特色ある議会運営を調査しました。

橿原市

県の中央に位置する人口13万人弱の県内第2の都市で、大和三山や藤原宮跡など歴史遺産も数多く、古くから大和平野の交通の要衝でもあります。

◆議会運営◆ 議会は、条例で定められた26名の議員により、8つの会派と8名の無党派議員で構成されています。

議案審査は、総務・文教・厚生・建設の4つの常任委員会と、予算・決算・水道・市町村合併問題検討・税情報流出調査の6つの特別委員会が、市民の視点に立った調査・審議を行っています。

なお、合併と税情報の特別委員会は正副議長を除く議員全員

で構成され、合併については平成の大合併で不調に終わった問題について再度検討を加えています。

また、こうした議会の内容を市民にお知らせするため、広報紙発行やインターネットでの会議録公開や本会議中継も行い、開かれた議会の推進に努めています。

◆女性議会◆

市制施行50周年と、男女共同参画推進条例施行を契機として、昨年開催されました。市民公募による25名の成年女性が議員となり、人権・防災・福祉・環境・教育の5部会での審議など3回の学習会を経て11月の本会議では5名が一般質問を行い、市長以下当局との活発な論議が交わされました。また、全員が未来への思いをキャッチフレーズにして、演壇より披露しました。

近江八幡市

◆議会運営◆ 議会は、条例定数の議員20名、7会派で構成。

開催により、当初の目的であった政策の立案や決定への参画に向け大きな効果があり、今後も継続していく予定とのことでした。

琵琶湖のほとりに位置し、近江商人発祥の地として知られ、人口は約7万人です。

総務・教育厚生・産業建設の3常任委員会と、経営改革・都市再生・決算・総合医療センター・新ごみ処理施設整備の5特別委員会が設置されています。市民への情報提供を進めるため、広報紙やインターネットでの公開に加え、市内全域に整備されたケーブルテレビで本会議中継の番組を放送しています。



近江八幡市での行政視察

横手市で市庁舎や議員定数について集中して検討しているように、両市とも直面する重要課題には複数の特別委員会を設置して、調査検討に当たっています。

そうした議会のような、最新技術を駆使して迅速・的確に市民に伝えるなど、今後の議会運営に多くの手がかりを得ました。

行政視察報告